

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年7月26日(2018.7.26)

【公表番号】特表2017-535531(P2017-535531A)

【公表日】平成29年11月30日(2017.11.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-046

【出願番号】特願2017-519570(P2017-519570)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/365 (2006.01)

A 6 1 K 31/202 (2006.01)

A 6 1 K 31/201 (2006.01)

C 0 7 D 307/58 (2006.01)

A 6 1 K 31/155 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 2 3 L 33/10 (2016.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/365

A 6 1 K 31/202

A 6 1 K 31/201

C 0 7 D 307/58 C S P

A 6 1 K 31/155

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/14

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/12

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 1/16

A 2 3 L 33/10

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年6月11日(2018.6.11)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

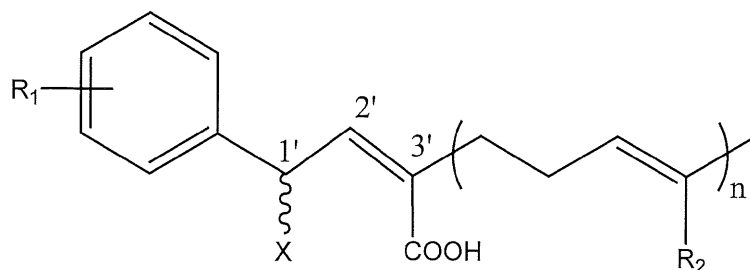
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ファルネシル類の芳香族化合物及びその薬用塩であって、
前記ファルネシル類の芳香族化合物の構造式は以下の構造式（I）に示される化合物であって：

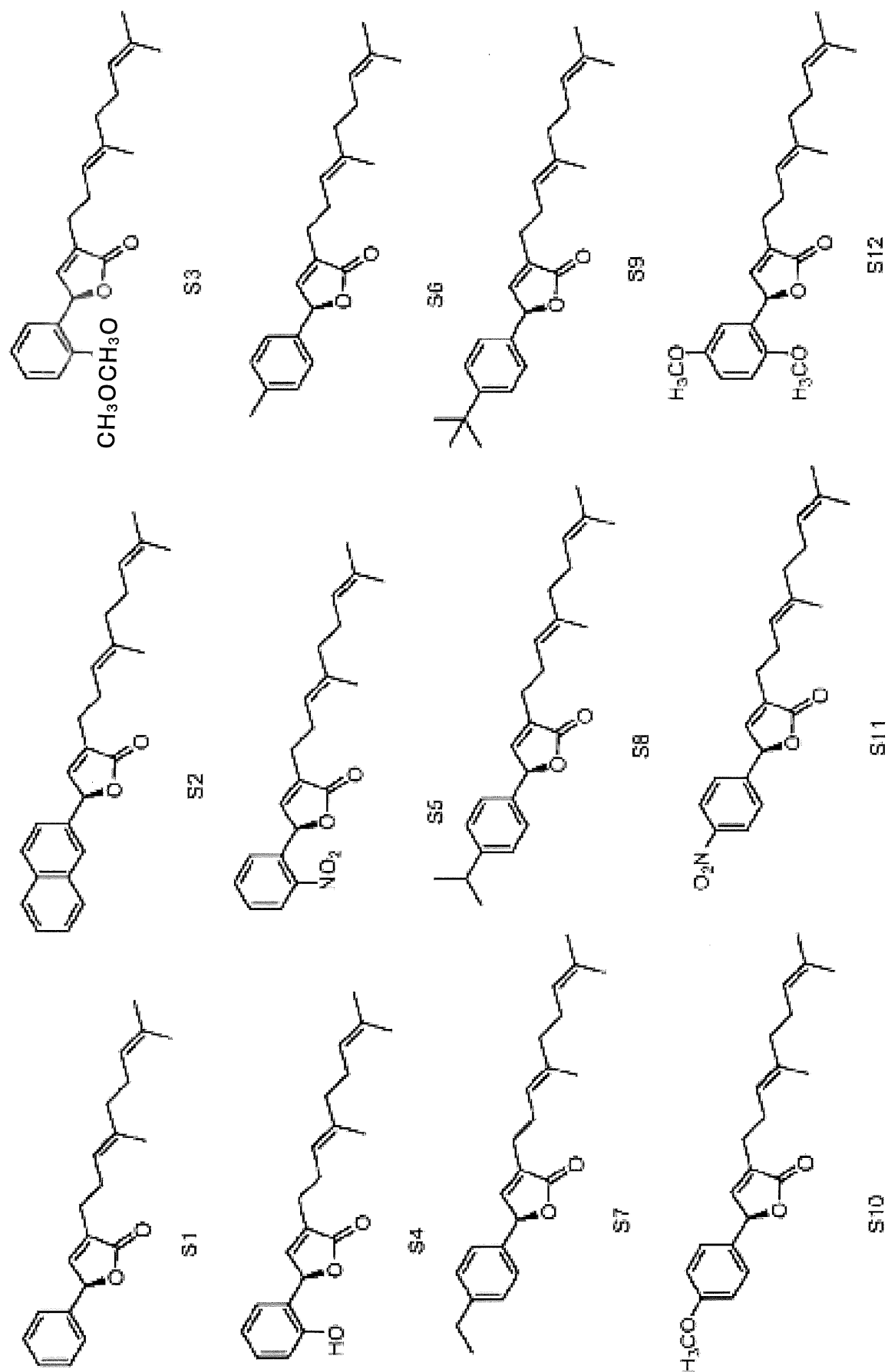


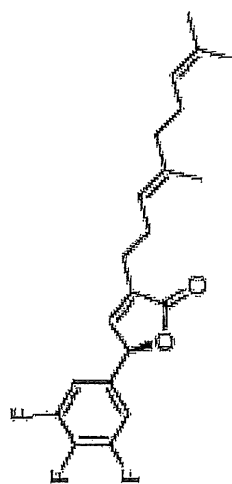
構造式（I）

式中、 R_1 は、水素、 $C_1 \sim C_5$ のアルキル基、メトキシ基、ニトロ基、フルオロ、クロロ、ブromo、エステル基、ヒドロキシ基、アシルアミノ基又はアルコキシ基から選ばれるいずれか1種であり； R_1 の数は、それぞれ1、2又は3から選られ；Xは、水素、ヒドロキシ基又はカルボニルから選ばれるいずれか1種であり；1'配置はR配置又はS配置から選られ $n = 1、2$ 又は3であり； R_2 は、メチル基、ヒドロキシメチル基又はアルデヒド基から選ばれる1種であり；任意で、Xがヒドロキシ基のとき、XとCOOHが5員環の $\alpha、\beta$ -ラクトン環と互いに結合していることを特徴とする、ファルネシル類の芳香族化合物及びその薬用塩。

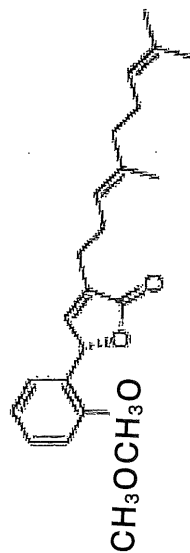
【請求項 2】

以下の群から選ばれるいずれか1種であることを特徴とする、請求項1に記載のファルネシル類の芳香族化合物及びその薬用塩。

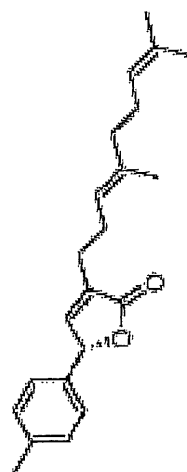




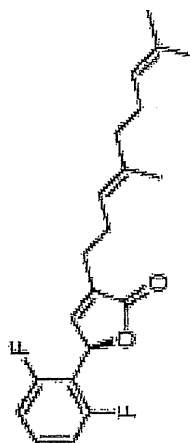
S15



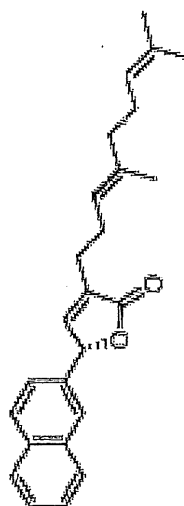
S16



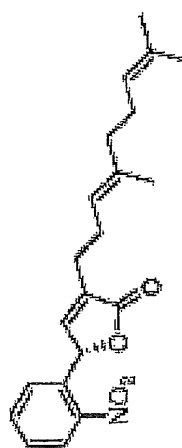
S17



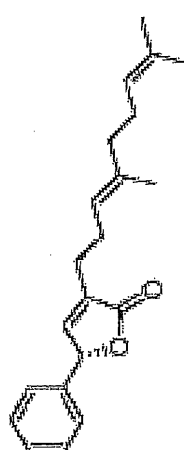
S18



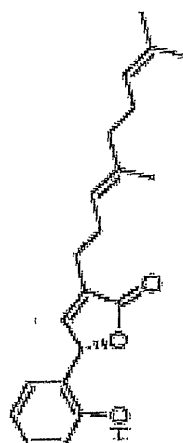
S19



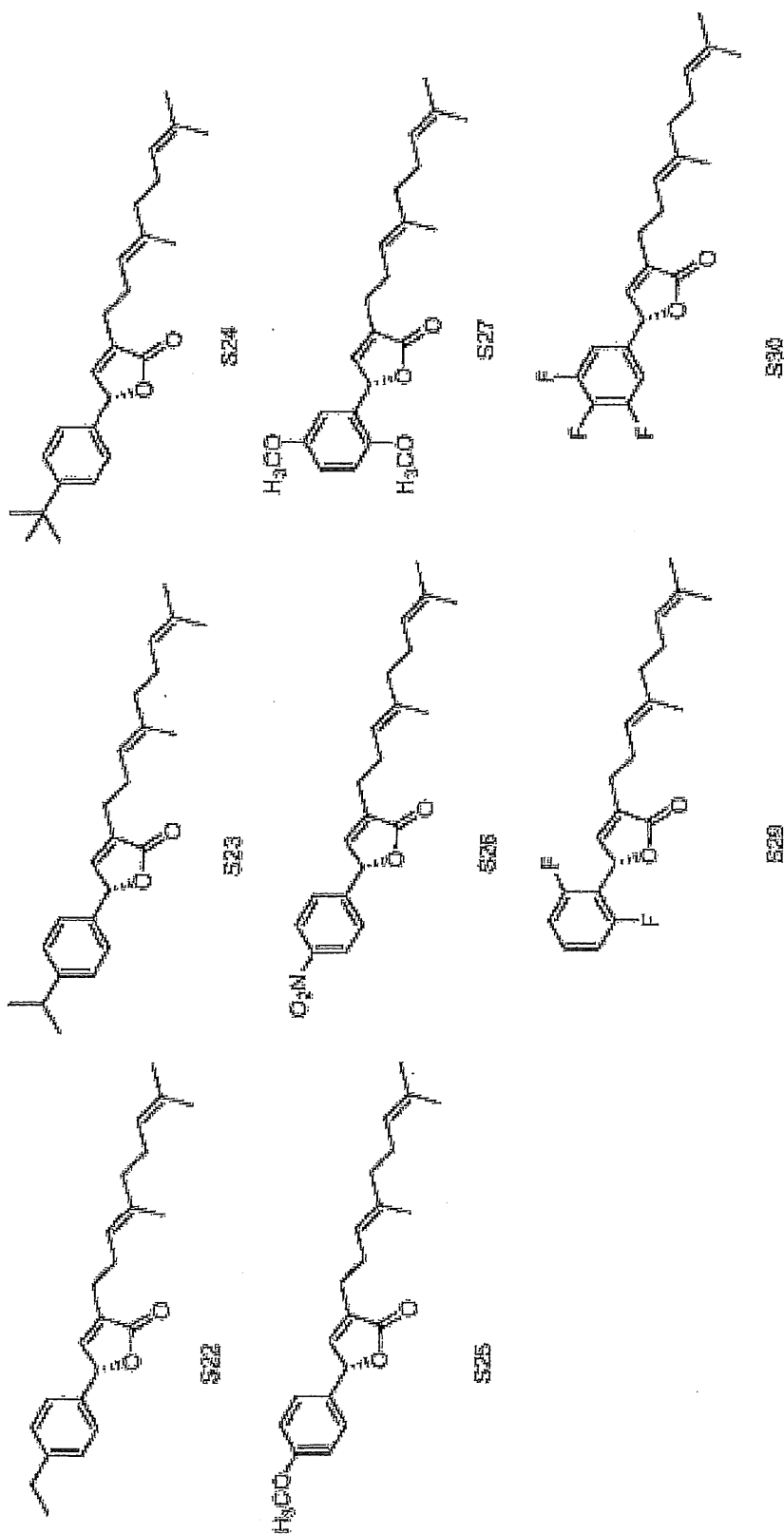
S20

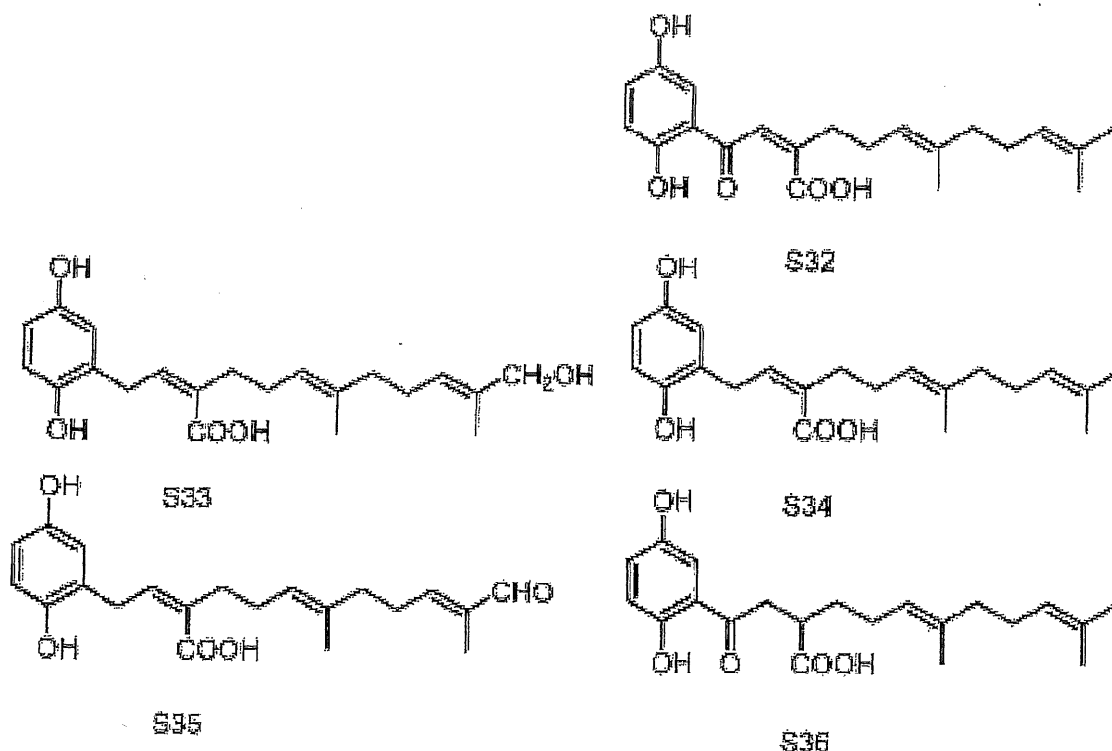


S21



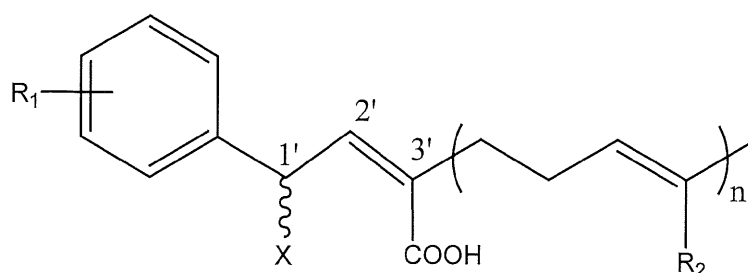
S22





【請求項 3】

下記構造式 (I) に示される化合物 I 又はそれを使用するための医薬誘導体であって、



構造式 (I)

式中、 R_1 は、水素、 $C_1 \sim C_5$ のアルキル基、メトキシ基、ニトロ基、フルオロ、クロロ、ブromo、エステル基、ヒドロキシ基、アシルアミノ基又はアルコキシ基から選ばれるいずれか 1 種であり； R_1 の数は、それぞれ 1、2 又は 3 から選ばれる； X は、水素、ヒドロキシ基又はカルボニルから選ばれるいずれか 1 種であり； $1'$ 配置は R 配置又は S 配置から選ばれる； $n = 1、2$ 又は 3 であり； R_2 は、メチル基、ヒドロキシメチル基又はアルデヒド基から選ばれる 1 種であり；任意で、 X がヒドロキシ基のとき、 X と $COOH$ が 5 員環の $\alpha、\beta$ - ラクトン環と互いに結合しており、

その用途が、

- (1) α - グルコシダーゼ阻害剤とする；
- (2) 2 型糖尿病を治療及び / 又は予防する医薬品の調製；
- (3) α - グルコシダーゼを阻害する医薬品の調製；
- (4) HMG - CoA 還元酵素阻害剤とする；
- (5) 脂質異常症を治療及び / 又は予防する医薬品の調製；
- (6) HMG - CoA 還元酵素を阻害する医薬品の調製；
- (7) 血糖降下及び血中脂質降下作用を有する食品又は保健機能食品の調製；

(8) プロテインチロシンホスファターゼ 1 B 阻害剤とする；

(9) プロテインチロシンホスファターゼ 1 B 阻害剤としての医薬品の調製；

(10) ジペプチジルペプチダーゼ - 4 阻害剤とする；

(11) ジペプチジルペプチダーゼ - 4 阻害剤としての医薬品の調製；

(12) アルドースレダクターゼ阻害剤とする；

(13) アルドースレダクターゼ阻害剤としての医薬品の調製；

(14) 糖尿病性網膜症又は糖尿病性足疾患を治療及び／又は予防する医薬品の調製；

(15) 非アルコール性脂肪性肝疾患を治療及び／又は予防する食品又は保健機能食品の調製、

からなる群より選ばれることを特徴とする、化合物 I 又はそれを使用するための医薬誘導体。

【請求項 4】

前記阻害剤又は医薬品は、注射剤、錠剤、散剤、顆粒剤、丸剤、カプセル剤、経口服液、軟膏剤、クリーム剤又はスプレー剤であることを特徴とする、請求項 3 に記載の化合物 I 又はそれを使用するための医薬誘導体。

【請求項 5】

前記阻害剤又は医薬品には、1 種以上の薬学的に許容される補助材料が含まれることを特徴とする、請求項 3 に記載の化合物 I 又はそれを使用するための医薬誘導体。

【請求項 6】

前記補助材料には、薬学分野で常套の希釈剤、賦形剤、充填剤、結合剤、湿潤剤、崩壊剤、吸収促進剤、界面活性剤、吸着担体、滑剤及び緩和剤が含まれることを特徴とする、請求項 5 に記載の化合物 I 又はそれを使用するための医薬誘導体。

【請求項 7】

前記食品又は保健機能食品は、内服液、茶系飲料、トローチ、カプセル剤、飲料又は発泡性錠剤であることを特徴とする、請求項 3 に記載の化合物 I 又はそれを使用するための医薬誘導体。

【請求項 8】

前記食品又は保健機能食品は、日常の健康管理、糖尿病の予防、又は糖尿病の治療中・治療後における補助機能として用いられることを特徴とする、請求項 3 に記載の化合物 I 又はそれを使用するための医薬誘導体。

【請求項 9】

前記医薬品は経口、経管投与、注射、噴霧、物理的又は化学的媒体などの方法で投与され、若しくは他の物質と混合又は包まれて投与されることを特徴とする、請求項 3 に記載の化合物 I 又はそれを使用するための医薬誘導体。

【請求項 10】

血糖降下作用の医薬品、食品又は保健機能食品を調整するための組成物であって、前記請求項 1 又は 2 に記載される少なくとも 1 つの化合物と、メトホルミンとを含むことを特徴とする、組成物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0027

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0027】

上記の発明によれば、前記ファルネシル類の芳香族化合物の構造式は以下の構造式 (I) に示される化合物である。式中、 R_1 は、水素、 $C_1 \sim C_5$ のアルキル基、ニトロ基、フルオロ、クロロ、プロモ、エステル基、ヒドロキシ基、アシルアミノ基又はアルコキシ基から選ばれるいずれか 1 種であり； $1'$ 配置は R 配置又は S 配置から選ばれ； R_2 は、水素又はアルコキシ基から選ばれ；X は、酸素、水素、カルボキシ基又はヒドロキシ基から選ばれる 1 種であり； $2'$ 位と $3'$ 位間は炭素 - 炭素単結合又は炭素 - 炭素二重結合であ

り； 1 4 ' 位は、エステル基又はカルボキシ基から選ばれ； N = 1、 2 又は 3 であり； R₃ はヒドロキシ基、アルデヒド基、エステル基又はカルボキシ基から選ばれる 1 種である。